

# 那賀川水系 那賀川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

## 【現況河道】

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の  
浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50の降雨により浸水した場合に想定される多段階浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、現況の那賀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3.3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））の降雨に伴う洪水により那賀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、外水氾濫（洪水位の上昇に伴う破堤氾濫、崩壊部の溢水氾濫、越水による氾濫、便所破壊、浸透破壊）を想定したものであり、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地域においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検計時の降雨波形（昭和43年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
  - (4) 計画規模（中低頻度）および想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、計算条件が異なります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和4年8月29日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川
    - ・制作主体 国土交通省四国地方整備局
    - ・那賀川河川事務所：那賀川水系那賀川
  - (3) 実施区間
 

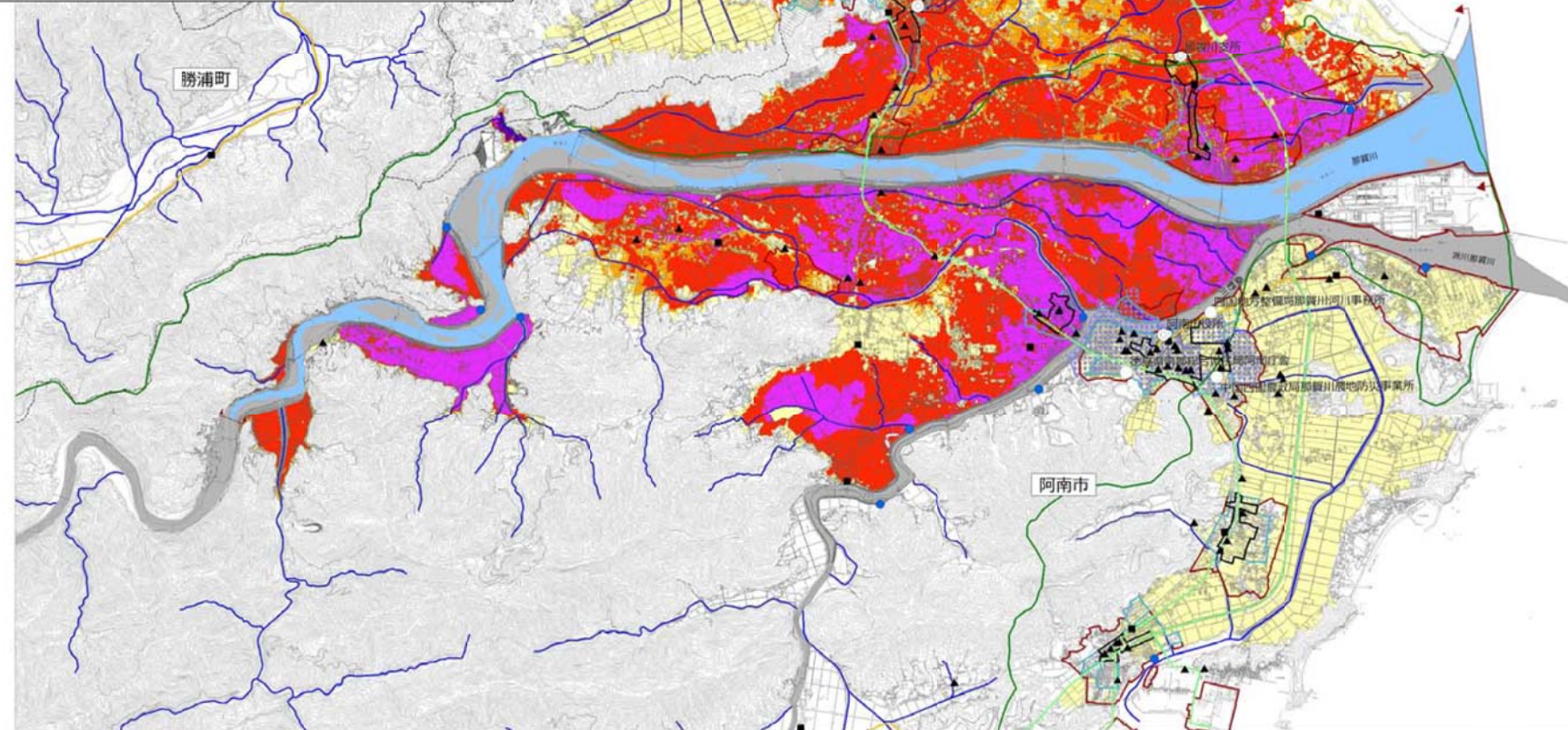
【那賀川河川事務所】

    - ・那賀川
      - 左岸：徳島県阿南市十八女町宮ノ前1番地先から海まで
      - 右岸：徳島県阿南市加茂町大西5番1地先から海まで
  - (4) 算出の前提となる降雨
    - ・年超過確率1/10（那賀川流域の2日間の総雨量473mm）
    - ・年超過確率1/30（那賀川流域の2日間の総雨量554mm）
    - ・年超過確率1/50（那賀川流域の2日間の総雨量605mm）
  - (5) 河道条件 現況
  - (6) 関係市町村 阿南市、小松島市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



### 凡例

- 高頻度（1/10）
- 中高頻度（1/30）
- 中頻度（1/50）
- 中低頻度（1/100）
- 想定最大規模



### 基本情報

- 流域界
- 河川
- 大臣管理区間
- 県管理区間
- 市町村界

### 区域

- 市街化区域
- 人口集中（DID）地区
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

### 重要施設

- 自治体庁舎
- 国・県庁舎
- 警察・消防
- 病院

### 排水施設

- 排水機場
- ポンプ場

### 道路

- 第1次緊急輸送道路
- 第2次緊急輸送道路